

私たちの学校での人権問題

人権委員会の前期の活動の反省で、

「拉致問題も障がい者差別の問題ももちろん大事だけど、

北条高校に人権問題や人権課題はないだろうか？」

という話題になりました。

「WE LOVE 北条宣言」から15年が経過した今、もう一度私たちの最も身近な環境、「北条高校」の人権問題を点検したいと思います。

1 現在、北条校校内に人権問題があると思いますか？

「はい」11人

「いいえ」1人

2 あるとしたらどんな人権問題ですか？

・人が嫌がることを平気でする 11票

(以下、人が嫌がることの具体例)

・(男女) 交際関係をいじる。

・コンプレックスをばかにする。 3票

(がんばって、コンプレックスを克服しようとしている人に、「めんどくさい」「気を遣う」などと言う人がいる。)

・個性について冷ややかに笑う。 5票

・人をばかにしたり、裏であだ名をつけて陰口を言ったりする。 2票

・特定の人をいじる。

・先生の容姿や教え方をばかにする声が聞こえる。

・生徒に限らず、先生にも人に対する口調が良くないことがよくあると思う。

3 問題解決のためにどんなことができると思いますか？

・声をかけて注意する。聞いたときに、その場で注意する。 2票

・できなみことは誰にでもあるので、できる人がカバーすればいい。助け合える関係を築く。

・相手を知ること。(2票)

・自分が思ったことをすぐに言葉にしなみ。(相手が不快に感じなみか点検する。)(2票)

・そういう事実があつたことを隠さなみ。公表して何度も呼びかける。ポスターなどで啓発する。

・ばかにするのではなく、生きにくそうな人にアドバイスをする。

・生徒が気をつけるだけでなく、先生にも言葉を点検してもらおうよう、呼びかける。

私たちの周りにも人権委員が感じるだけで、こんなにたくさんの人権問題があるのです。中でも「人が嫌がることを平気でする」を学校の人権問題として最も多くの人が取り上げていました。

相手の言動や行動が、自分になじみのあるものではなくても、ひややかに笑ったり、ばかにしたりしていいわけはありません。苦手なことやできないことは誰にでもあるし、その苦手やできないことを克服しようとする姿は、不格好に見えても、美しいはずです。

それを応援できる北条高校生であり、北条高校のスタッフでありたいです。友達が問題のあることを言ったり、したりしたら、当人のその言動や行動のみを指摘しましょう。「私は傷ついたよ。」「それはよくないよ。」と。

それは友達だけでなく、先生方であっても同じです。先生だから、生徒に何を言っても許されるわけではないからです。

言葉を点検し、私たちの心が互いに温かくなるような「ハートフルメッセージ」が学校中にあふれる、そんな学校を作っていきませんか？

年間目標

「WE LOVE 北条！」

～互いの個性を、思いやりの気持ちを持って尊重し、
みんなが楽しく学校生活を送れるようにしよう～

後期目標

～つねに相手の気持ちを考えて

自分の言葉と行動を点検し、ポジティブな発言をしよう!～

そこで、人権委員会の後期目標は上記のように決定しました。軌跡ファイルの後期努力目標の欄に記入しましょう。

本日のハートフルデーでは、一人1枚「ハートフルメッセージ」の記入用紙を配布します。その用紙に、あなたの心が軽くなる一言や、温まる一言、やる気の出る一言や、かつて人から掛けられてうれしかった一言などを書いて、クラスの人権委員に14日（金）までに提出してください。

素敵なメッセージを待っています。



下のハートを切り取って提出してください。

